

キャラクターと一緒に楽しく学べる。工場作業や理数系の学生を中心に、技術やノウハウをテーマにしたマンガ本が評判だ。化学専門誌を扱う三光出版社(横浜市)は昨年10月、プラスチック成形の工場を舞台にしたコミックを発売。科学技術書のオーム社(東京・千代田)も統計学や材料力学などを扱うシリーズを展開する。両社とも難解とされる技術書のイメージ一新を狙っている。

三光出版社が発売したマンガ本は「成形女子」は、くープラスチック工場物語」。少女マンガのようなタッチでプラスチック部品をつくる町工場の日常風景や成形の基礎知識を描く。石川正裕社長は「(生産)現場の人たちが楽しく読める技術書」を目指したという。物語は、主人公の鈴木こはくが父親の知り合いが経営する町工場に初出社するシーンから始まる。工場では、射出成形機と金型を使い、粒状の樹脂からプラスチック製のケースや部品をついている。

マンガ本の出版は石川社ラーの学術書が多いが、長の20年間の夢だったと「現場で働く人が手軽に読む。同社にはロングセラー読んで、すぐに役に立つ

理数系の技術マンガで入門

三光出版社



成形工場で働く女子目線

内容ではない(石川社長)と感していたからだ。昨年10月に出版の「成形工場」は、08年に同じ意識を持った。成形工場の責任者、大吉さん(原作者、ペンネーム)と出会ってからの構想の1冊15000円という価格設定で、技術書を扱う大型書店での取り扱いが、12月末までの累計販売は1000冊を回り、滑り出しはまずまず。だが、ロングセラーになるかどうかは「続編の程度」を重なる必要がありそうだ。



「成形女子」はくープラスチック工場物語」は着想から20年を経て完成した

目はパート従業員のこはくが正社員に登用されるシーンで終わったが、1巻目で紹介したプラスチック成形の知識は基礎中の基礎。新人社員教育への利用を検討する企業から、2巻目以降の内容や出版予定に関する問い合わせが相次いでいるという。石川社長は「今年後半には(2巻目)を出したい」と話す。

こはくは工場での勤務や先輩社員との交流を通じて、成形機の仕組みや使い方を学んでいく。金型から樹脂材料がはみ出たまま成形してしまう「バリ」など専門用語の解説もあるが、イラストの効果か、難解さは感じない。一方で、不良品を見逃して大目玉をくらったり、同僚が突然退職してしまったりといったエピソードも描く。

オーム社



「マンガでわかる統計学」はタイ語や英語などに翻訳されている

全33作、各国で翻訳も

マンガで最も有名なのは、オーム社の「マンガでわかる」シリーズだ。2004年に「統計学」を発行して以来、「材料力学」や「シーケン」の反響に促されるうちに、井さんは説明する。同シリーズは、最近でも年に3、5の新作を出して見本市でも、専門書を抑えており、「ドイツで毎年開催される」書籍の国際的な人気(海外グループ)の佐藤美さんという。日本のマンガは技術書の分野でも、海外に売れる可能性があるという(佐藤美)

目利きが斬る



吉村 永

今回は、パナソニックが2011年11月に発売した「ミラーレス」方式のデジタル一眼カメラ「ルミックス DMC-GX1」を紹介する。レンズ交換式で、光学式ファインダーをなくすことで小型化したデジタルカメラがミラーレスと呼ばれる。最近では、レンズ交換式デジタルカメラの国内市場のうち、半分近くをミラーレスが占めているようだ。

パナソニックのミラーレス一眼「ルミックス DMC-GX1」



パナソニックも、これまで動画撮影に重きを置いた「GH」シリーズのファインダーを設けた「GF」という3つのシリーズを展開してきた。新たに追加した「GX」シリーズは、高品位なファインダーのハイエンドモデルに位置付けられる。よりカメラにこだわりのあるユーザーを獲得することを狙ったモデルだろう。

電動ズームで動作滑らか タッチ・ダイヤル両方で操作

「ルミックス DMC-GX1」の項目別評価

サイズ	7
デザイン	7
使い勝手	9
価格	7
独自性	8

多くの露出調節は、タッチパネルよりもダイヤルを指先の感覚だけで回してしまったり、素早くできる。GX1のダイヤルは本体背面に垂直にめり込む形で搭載されており、親指で回しながらダイヤル自体を押しながら、即座に機能を切り替わるのが便利だ。

一方、タッチパネル液晶の方は主にヒント合わせに役立つ。画面内の写したいものに触れば、その部分に対してAF(オートフォーカス)が動く。これはボタンよりタッチ操作の方が楽だ。

だが、GX1が最もカメラファンに受けそうなポイントが「しっかりとクリップでき、手から安心感が伝わる造りの良さ」だ。ただ小型化を追求するのではなく、道具として使いやすいことを考慮してデザインしたのだらう。

GX1に装着可能な、ほぼ同時期に登場したXシリーズと銘打った交換レンズも注目される。パナソニック独自のナノサーフェスコーティングを施すことにより画質を高めるといえる。特に重要なのは、これまでも使用するときだけ鏡筒を伸ばす沈胴式を採用しているが、ここまでの薄さは実現できていない。また、収納時にいちいち手で絞めるのは面倒との声も多かったが、電動のXレンズなら手間がかからない。

GX1の本体の実勢価格は5万1000円前後。従来のパナソニックのミラーレスよりも、レンズを含めて動画機能や細かな使い勝手が著実に向上しているといえそうだ。(テクニカルライター)

総合評価 **76** / 100点

レンズや動画 使い勝手向上



ミルクキャラメル

森永製菓 (1914年発売)

森永製菓が創業した1899年(明治32年)に製造を始めた、エンゼルマークをあしらったキャラメル。1913年(大正2年)には商品名を「キャラメル」から「ミルクキャラメル」に変更した。

派

してみたが、10年もたずに従来パッケージに一本化した。79年に



マニュアルNOW

ハーティネス テクニカルライター

安全表記分かりやすく、ダイキンに評価

いて、ユニバーサルデザインの考が部門優良賞を受賞した。状況に